

令和3年度 学習分析事業 改善計画 三原市立南小学校

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均(全国を50とする)

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	49.9	52.2	49.5	48.9	46.7	49.6
算数	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	50.2	51.1	47.7	49.5	46	49
理科	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	/	/	49.5	48.7	48	48.8
全体	目標値 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	結果 偏差値平均	49.9	51.6	48.8	49	46.7	49.3

②全国学力・学習状況調査 正答率平均(第6学年対象)

教科	国語	算数
目標値 (対県比)	/	/
結果 (対県比)	60 (90.9)	61 (87.1)

2. 調査から明らかになった課題

<p>【年度当初の学力について】(NRTをうけて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語では各学年、話の内容の大体を捉える(58.7%)、話題を決め伝える内容を選ぶ(72.9%)、話や意見の背景を考え話し合う(54.9%)、情報を選び構成を考えて書く(32.7%)、考えや感想をまとめ伝え合う(42.9%)に課題があった。 ●算数では各学年、絵や図を用いた数量の表現(59.8%)、時間の単位(72.6%)、口を用いた式(42.2%)、角の大きさ(57.5%)、平面図形の性質・面積(45.7%)に課題があった。 ●学力の散らばりが大きい。 ●問題を解き切ることができない児童が多かった。 	<p>【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)</p> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える(51.2%) ●文の中における修飾と被修飾との関係を捉える(31.4%) ●目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付ける。(23.3%) ●目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約する。(29.1%) <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●数と計算領域(54.4%) ●直角三角形を組み合わせた図形の面積を求める(33.7%) ●二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く(22.1%)
--	--

3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通じた学力・学習意欲の向上】</p> <p>(1)全教諭が「問いの設定」を意識した授業を実施し、全学級の児童が「学ぶことが楽しい」と思える授業づくり・授業改善を行う。</p> <p>(2)「伸び」の実感と意欲向上を大切に「計算・漢字検定」を核とした、基礎学力定着への取組を全校で実施する。</p>	<p>(1) ①各学力調査(NRT、全国学力学習状況調査)の誤差分析による実態把握と改善計画の立案 ②研究授業・研究協議を通じた「めざす授業」の共有(「改善・協議の柱」の焦点化、1人年1回以上) ③児童の算数ノート交流(授業改善の全学級完全実施及び進捗状況の確認)</p> <p>(2) ①各単元導入時における「既習事項の学び直し」実施(授業と家庭学習とを連動させた「土台づくり」) ②計算・漢字「やればできるっ!」検定の定期的実施(苦手分野に焦点化を絞った反復練習)</p>	<p>(1)</p> <p>① 6月・8月 ② 5月～2月 ③ 月1回以上</p> <p>(2)</p> <p>① 各単元前の家庭学習チャレンジタイム週2回 ② 月1回以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元末テスト平均値(全学級80%以上) ・検定合格率(80%以上) ・Q-U2回目の学習意欲の数値(全学級で全国平均以上) ・南小アンケート「算数の授業はよく分かる」(肯定的評価80%以上)
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <p>○「一人一人のよさや違いを認め合える学級集団づくり」を全学級で進める。</p>	<p>①Q-Uによる実態把握と改善計画の立案・共有 ②要支援群にいる児童(NRTとのクロス集計表のD、C-1に位置する児童)との面談実施・全職員による実態の共有 ③頑張っている児童やクラスの全校への紹介(生徒指導部と連携) ④自己有用感向上をめざした人間関係づくりの実施及び実践交流(コグトレ、エンカウンター、ソーシャルスキル等)</p>	<p>① 6月・8月 ② 9～10月 ③ 通年 ④ 2学期・3学期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-U2回目の一次支援の数値(全学級で1回目以上) ・南小アンケート「自分のいいところは友達に認められている」(肯定的評価80%以上)